

招 集 期 日	令 和 5 年 9 月 2 0 日 (水)		会議の場所	301 会議室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 30 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 2 時 10 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿沼拓弥教育長職務代理者	出 席	駒 澤 幸 浩 委 員	出 席	
高 瀬 賢 一 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	細村学校教育部長	栗原生涯学習部長	米花教育総務課長	蓮見学校教育課長
	田中学校給食センター所長	佐藤生涯学習課長	根岸スポーツ振興課長	阿久津図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 小林			傍聴人 なし
会議事件名	て ん 末			
開 会 日程第 1 前回会議録の承認	教育長	本日、傍聴人はない。		
	教育長	9 月定例教育委員会を開会		
	教育長	教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する案件等について出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した場合は非公開とすることができる。本日の日程の中で非公開とすべき案件はないため、全て公開としてよろしいか。		
	教育長	異議なしの声あり		
教育長	8 月定例教育委員会の会議録について諮った。			
教育長	異議なしの声あり			
教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。			
教育長	報告事項 1 及び 2 について、学校教育課長から説明を求めた。			

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 小・中学校における 第1学期の表彰等の 結果について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>県大会入賞等以上について、小学校では全校において埼玉県硬筆中央展覧会で多数の表彰があった。また、三田ヶ谷小学校では、3年生児童が埼玉県書写書道教育連盟賞を受賞した。</p> <p>中学校では、埼玉県硬筆中央展覧会で各学校が表彰されたほか、埼玉県学校総合体育大会において、南中と東中が陸上競技において表彰された。なお、南中陸上は110mハードルで県大会1位となり、関東大会、全国大会に出場し、関東大会で4位となった。東中陸上は、県大会で2位となり、関東大会に進出した。</p>
<p>報告事項2 令和5年度羽生地区 青少年健全育成地域 フォーラムの開催に ついて</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>青少年の非行問題や不登校の問題などが絶えない現状を早急に解決するための行動や取組が必要とされている。そこで、羽生地区青少年健全育成地域フォーラムを10月25日水曜日に、羽生市産業文化ホール小ホールにて開催する。</p> <p>内容は、児童生徒の実践発表のほか、落語家の入船亭扇蔵氏による講演を予定している。昨年度までコロナ禍の影響により、人数等を縮小し開催していたが、今年度はコロナ禍以前の規模での開催を予定している。</p>
<p>報告事項3 令和5年度給食セン ター職員等による学 校訪問について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項3及び4について、学校給食センター所長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項4 令和5年度給食セン ター職員等による学 校訪問について</p>	<p>学校給食センター所長</p>	<p>趣旨は、栄養技師・調理員・学校給食センター職員が学校を訪問し、給食を生きた教材として活用した「食に関する指導」を行うとともに、給食状況を把握し児童生徒との交流を図ることである。</p> <p>日時は令和5年10月から令和5年11月までの2か月間で7校を訪問し、時間は給食開始時間15分前から給食時間終了までである。内容は、食育指導、給食時間の見学、配膳室における衛生管理指導である。訪問予定校実施計画により実施し、川俣小学校は、昨年度に引き続き、10月17日の給食センター見学时に実施する。</p>
<p>報告事項4 学校給食における防</p>	<p>学校給食センター所長</p>	<p>関東大震災から100年となる防災の日の9月1日に、中学校に災害用として備蓄されているアルファ米を給食の主食として</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>災備蓄品（アルファ米）の活用について</p>		<p>提供した。防災担当の地域振興課と協力し、今年度に入替えとなるアルファ米を利用することで、生徒の防災意識の向上を図るとともに、フードロスの削減に寄与する。</p> <p>対象は市内中学校の生徒と職員、約1,360食である。生徒たちは、3時間目の終わりの休み時間を利用し、アルファ米に水を入れ準備を行い、約1時間後、給食時の主食として喫食した。生徒の感想は、「アルファ米はどんな味かと思ったが、美味しかった。」「関東大震災は100年前なので、あまり実感はわからないが、災害はいつ起こるか分からないので、日頃からしっかり備えたいと思った。」などである。水を標準量入れずにアルファ米が少し固かったという生徒もいたが、それも一つの経験となり、全体としては生徒に防災意識として、一定の効果があつた。</p> <p>写真は、給食で提供したアルファ米とアルファ米の準備の様子である。また当日は、NHK 埼玉放送局の取材があり、東中学校での取組の様子が放映された。</p>
<p>報告事項5 第21回羽生市文化祭の開催について</p>	<p>教育長 生涯学習課長</p>	<p>報告事項5から10について、生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>開催日時は、11月11日土曜日が午前9時30分から午後5時まで、11月12日日曜日が午前9時30分から午後4時まで、会場は羽生市民プラザである。参加団体は、羽生市文化団体連合会に加盟している9団体で、絵画や彫刻、生け花など、各団体の作品展示のほか、茶道教室による茶会や将棋連盟による将棋大会など参加型の催し物も、感染症対策を講じながら実施する。</p>
<p>報告事項6 第15回羽生市郷土芸能発表会の開催について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>市内各地域に伝承され、地元の祭礼などで演じられている舞台芸能の公演を行うことにより、文化の振興を図る。</p> <p>主催は羽生市郷土芸能発表会実行委員会及び羽生市教育委員会で、開催日時は令和6年2月11日日曜日午後1時から、会場は羽生市産業文化ホール小ホールである。出演団体は来月から募集を行い、お囃子や太鼓、獅子舞など最大で8団体を予定している。周知については、市広報やホームページのほか、ポスター掲示やチラシ配布などを行い、多くの方に参加いただき、本市の郷土芸能に触れていただけるよう努める。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 令和5年度（第13期） 子ども大学はにゅう の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>開催日時は、8月8日及び10日の12時20分から16時45分までの2日間実施した。会場は埼玉純真短期大学、平成国際大学、富士高フーズ工業株式会社である。</p> <p>市内の小学4年生から6年生の25名と、子ども大学はにゅうの卒業生である中学生5名がサポーターとして参加した。</p> <p>講座内容は4講座で、一つ目は平成国際大学において、クイズラリー『すすめ！大学探検隊』と題し、実施した。グループごとに大学生スタッフが付き、出されたクイズに悩みながらも、仲間と協力して一つ一つ解いていた。二つ目は、「もぐもぐ・ごっくん・はじめてのごはん」と題し、埼玉純真短期大学の先生と学生スタッフで進めた。赤ちゃんが食べるおもゆとおかゆの違いを学び、実際に作ってみるという内容だった。三つ目は、富士高フーズ工業株式会社の社員が講師となり進めた。グミ工場の見学、グミ作りの勉強、お土産となるグミの詰め放題と、子どもたちも楽しみながら学んでいた。四つ目は、「体験してみよう！身近な防災グッズ」と題し、一般社団法人羽生市青年会議所の方々が講師となり、ダンボールベッドやペットボトルで水のろ過装置を作る体験をした。最後は、学習のまとめとして、子どもたちが2日間で一番楽しかったこと、心に残ったことを絵日記に描き、一人一人が皆の前で発表した。</p> <p>開催後のアンケート結果でも、参加した子どもの回答21人のうち、とても満足が18人と非常に高く、また保護者からも子どもがとても楽しく講座を聞いていてびっくりした、学校とは違うところで学ぶことが、子どもにとってとても刺激になる体験だったなど、喜びの感想が多く、充実した内容であったと感じている。引き続き、子どもたちの学びの場の提供に努める。</p>
<p>報告事項8 高校生インストラクター講座「万華鏡を作ろう」及び「透明骨格標本を作ろう」の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>羽生第一高等学校科学部の生徒4名が講師となり、第一理科講義室を会場として2日間開催した。8月2日水曜日は、万華鏡を作る講座で、参加者は小学生から70代の大人まで募集定員20名を上回る22名であった。8月3日木曜日は、透明骨格標本を作る講座で、小学生から40代まで20名が参加した。</p> <p>参加者アンケートでは、「親子で参加できて楽しかった。」「高校生が頑張っている姿が微笑ましかった。」など、満足度の高い結果が得られた。また、講師となった高校生は、人に伝えることの難しさを感じながらも、参加者の様子を見ながら丁寧に教</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項9 令和5年度羽生市人権教育研修会の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>え、満足感や達成感を得ている様子が感じられた。今後も学校の理解と協力を得ながら、高校生の力を地域社会に活かせる場を提供していく。</p> <p>行政関係団体のほか、広く市民に周知し開催した。開催日は8月4日金曜日、会場は羽生市産業文化ホール大ホールで、368名が参加した。内容は、市内児童生徒による人権作文発表と講演の2部構成で開催した。</p> <p>講師は弁護士の佐藤大和先生で、「加害者にも被害者にもならないためのSNSトラブル対策」と題し、インターネットによる人権侵害を防ぐため、誹謗中傷があった際の対応方法、SNS利用の際の注意すべき点などについて講演した。</p> <p>参加者アンケートでは、「人権作文の発表を聞いて、他人への思いやりをもっと大切にしなければならぬと改めて気付かされた。」「SNSを断ち切るのではなく、どう活用していくかが大切だと思った。」などの声があった。市民に人権について考える機会を提供し、理解を深められたものと考えている。</p>
<p>報告事項10 自生地見学会「牧野富太郎ゆかりのムジナモを観察しよう！」の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>宝蔵寺沼ムジナモ自生地見学会は、市内の保存会の協力を得て毎年実施している。本年度は、昨年より1回多く7回開催した。三田ヶ谷農村センターでムジナモの特徴や、宝蔵寺沼の成り立ちなどについて解説した後に、自生地を見学に行くという内容である。今年は、NHK連続テレビ小説「らんまん」の効果もあり、大変多くの参加があった。遠くは名古屋市からの参加で、7日間計180名、特にドラマの中でムジナモが登場した後は、その数も増え、8月2日には64名が参加し、熱心に、また興味深くムジナモを観察していた。らんまんの放送で得られた注目度を生かしつつ、引き続きムジナモと自生地のPRに努める。</p>
<p>報告事項11 トップアスリート育成事業（バスケット</p>	<p>教育長 スポーツ振興課長</p>	<p>報告事項11について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p> <p>羽生市体育館等指定管理者の委託事業として、8月20日曜日に開催した。</p> <p>指導者は、羽生市と地域連携協定を締結しているプロバスケット</p>

会議事件名	て ん 末	
ボール教室)の結果について		<p>ットボールチーム埼玉ブロンコス秋山選手、ミサカボ選手、15歳以下を専門に指導する神コーチの3名で、市スポーツ少年団ミニバス部会の団員を中心に80名が参加した。</p> <p>各チームの指導者に向けて指導内容の説明が行われ、各指導者が教室の意図を把握した上で練習に入った。参加者を低学年と高学年に分けて指導することで、それぞれのレベルに合わせた内容となり、バスケットボールの理解を深めることができた。</p> <p>デモンストレーションでは選手のダンクシュートなど、トップアスリートのプレーを間近で体験し、バスケットボールの魅力を再確認することができた。また、教室終了後に指導者講習会を行い、指導方法のアドバイスや質疑応答により、指導者の資質向上にも努めた。</p> <p>今年度、他の種目も実施予定だが、種目に関わらず、トップレベルの選手や指導者に触れることは子どもたちに夢や希望を与え、レベルアップのきっかけにもなる。今後も指定管理者やスポーツ少年団との連携により事業を継続する。</p>
報告事項12 その他	<p>教育長</p> <p>スポーツ振興課長</p>	<p>その他の報告を求めた。</p> <p>10月15日(日)に開催される新スポーツイベント「2023はにゅうスポ・レクフェスタ」のリーフレットが完成した。中面中段は会場マップで、市体育館及び中央公園内、各エリアで25のスポーツレクリエーションなどが体験できるブースのほか、キッチンカーやバザーなどの出店がある。裏面にはグルメやゲストの情報、当日のスケジュールのほか、スタンプラリーの用紙を掲載した。先日、ハンバーガー日本一に輝いたビッグバンPJや、オモウマイ店というテレビ番組でおなじみの味のイサムも出店する。</p> <p>リーフレットを10月の広報と同時に、市内に全戸配布する。また、市内小中学生全員に配布を予定し、当日会場でも配布する。当日は陸上競技で活躍したオリンピックの千葉真子氏の講演もある。オープニングセレモニーは午前9時開始で、館内ブースが多数あり、体育館シューズを持って来場いただきたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育総務課長	<p>継往開来第3号を配布した。内容は、新校名制定の進捗状況で、現在新たな学校の名前については、12案まで絞られている。本日開催する再編成準備委員会において、さらに絞り込みを行い、総合教育会議、教育委員会へ報告する案を決定する予定である。裏面は、12案を決定するに当たり実施したアンケートの結果である。</p>
	柿沼委員	<p>8月23日、埼玉県教育委員会に令和6年度の文教政策と予算に関する要望書の提出及び受取会に参加した。市町村教育委員会連合会、都市教育長協議会、町村教育長協議会の三つの団体から、意見をとりまとめ要望書として提出したものである。</p> <p>三つの団体からは、市町村教育委員会連合会から私と秋本教育長、熊谷市の松島副会長、都市教育長協議会から小柳会長、新保副会長、町村教育長協議会から小林会長、斉藤副会長が出席した。県教育委員会からは、日吉教育長、石井副教育長、青木県立学校部長、古垣教育総務部長、石井市町村支援部長、吉田市町村支援部副部長が受取に出席した。</p>
	教育長	<p>報告事項に関し、質問・意見を求めた。</p>
	平野委員	<p>防災備蓄品の活用について、アルファ米以外にもあるか。ローリングストックでも、給食に活用し難いものなど、他への活用を考えているものがあるのか。教育委員会の所管ではないかもしれないが、例えばイベントなどに合わせて活用する考えはあるのか。</p>
	学校給食センター所長	<p>今回は、令和5年12月に賞味期限が切れるものを活用した。昨年もローリングストックとして活用できるものもあったが、お粥だった。中学校の主食としてのお粥の活用は、栄養価が足りないことから活用を見送った。今後も主食として賄えるものがあれば、地域振興課と協力して活用していく。</p>
	平野委員	<p>お粥は教育委員会以外の他のことに活用されたのか。</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校給食センター長	自治会に提供するなど、有効に活用された。
	高瀬委員	報告事項についてではないが、東京都練馬区で中学校長の起こした事件があった。不祥事防止に対し、市ではどのように取り組んでいるのか。
	学校教育部長	<p>不祥事は、あつてはいけないことだと考えている。具体的には毎月開催される校長研究協議会において、教育長の挨拶の中に不祥事根絶を入れている。また、不祥事根絶に関する通知文を周知している。校長研究協議会での部長から話の中で、その月に注意すべきことを、具体的にポイントを絞って説明し注意喚起を図っている。昨年度は事務所の所長から、今年度は事務所の副所長から、不祥事根絶をテーマに講義をいただいた。</p> <p>それ以外には教育事務所支援担当訪問の際、全教員が出席をする全体会において、課長から不祥事根絶についての話をしている。各学校においては、倫理確立委員会を設け、不祥事の根絶に取り組んでいる。</p>
	駒澤委員	羽生市人権教育研修会については、PTAの中で報告があり、非常に良い内容だったと聞いている。SNSに関する内容で、1人でも多くの人に伝えたいという声があった。こういったデジタルコンテンツの内容は、いろいろな部分に多岐にわたっており、これから教育の場でも使わざるを得ないような状況が必ず出てくる。その際、使い方や危険性、有用性について、絶えず新しい情報を仕入れるためには、講演会や研修会の継続をお願いする。
	生涯学習課長	<p>今回の研修テーマは、昨年度の研修の際のアンケート結果により選定した。どの世代もインターネットというものが身近にあり、そういった危険性を含め、話を聞きたいという希望が多く開催した。</p> <p>また、人権指導者研修会に申し込んだ方は、今回の講演会がオンラインで視聴できる。当日会場に来られなくても、見ていただく機会を設けている。</p>

会議事件名	て ん 末	
	柿沼委員	<p>南中学校男子 110m ハードルは、県大会 1 位と素晴らしい結果を出せた。大会に埼玉県学校総合体育大会と全日本中学校通信陸上競技大会埼玉県大会とあるが、団体が別なのか。どのような違いがあるのか。</p>
	学校教育課長	<p>埼玉県学校総合体育大会は、たくさんの部活動が出るいわゆる夏の大会である。全日本中学校通信陸上競技大会埼玉県大会は、陸上の大会となり別のものである。</p> <p>県の学校総合体育大会の 110m ハードルで 1 位を取り、その時の記録で全国大会に進むことは確定している。その上で関東大会に出場し第 4 位、全国大会では残念ながら決勝には残れなかったが、校長からは素晴らしい走りだったと報告を受けている。</p>
	柿沼委員	<p>全日本中学校通信陸上競技大会の名称に通信が入っているのは、どういった関係なのか。</p>
	高瀬委員	<p>通信陸上というのは、以前は同じ日に全国一斉に開催した。それで全国で何位とか順位が決まった。今は一斉ではないが、同じ日に開催していると思う。</p> <p>通信陸上競技大会が各都道府県にあり、各都道府県で陸上の大会を開いて、同じ種目を同じ時間に行い記録を争った。</p>
	教育長	<p>主催が違う競技だと認識している。</p>
	高瀬委員	<p>昔、通信陸上には NHK が関連していたと思う。関東は中学校体育連盟の陸上部が主催だと思う。都道府県の大会で上位になる、若しくは全国の標準記録を出すと全国大会に出場できる。関東大会で、また上位若しくは全国の標準記録を突破すると全国大会に出場できる。</p>
	柿沼委員	<p>全国大会もあるのか。</p>
	高瀬委員	<p>全国大会もある。</p>
	教育長	<p>また、詳細が分かる資料があれば提示する。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程3 協議事項1 令和6年度当初教職員人事異動の方針 (案)</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	<p>教育長</p>	<p>協議事項1について、学校教育課長から説明を求めた。</p>
	<p>学校教育課長</p>	<p>1 本市の基本方針は六つある。一つ目は、埼玉県教育委員会の令和6年度当初教職員人事異動方針及び令和6年度当初市町村立小中学校等教職員人事異動方針細部事項を踏まえながら、円滑適正な人事を行うことである。二つ目は、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努め、魅力ある学校づくりを推進することである。三つ目は、適材適所の人事配置、広範かつ適正な異動を推進することである。四つ目は、役職定年後の教職員及び再任用職員の適正配置である。五つ目は、教職員の任用については各学校の状況を適切に把握した上で計画的に行うことである。六つ目は、新採用教職員については、人材育成の観点及び学校間の教職員組織の均衡を勘案して適正な配置に努めることである。</p> <p>2 退職については、職員の定年等に関する条例の定めによるほか、教職員の年齢構成不均衡を解消するため、勸奨退職制度の活用を図ることである。</p> <p>3 転任・転補については、1 基本方針を踏まえて行う。適材適所の人事配置を行うことはもちろんだが、学校間の均衡に十分留意して、教職員組織の充実及び教職員の職務経験を豊かにするための人事交流も積極的に行う。併せて学校の気風の停滞を防ぐとともに、職務経験を豊かにするため、同一校10年以内の異動を、特に同一校勤続7年以上の者については積極的に異動を行う。</p> <p>なお、1の(4)については昨年度と変更がある。新たに役職定年後の教職員の記述が追加された。これは、今年度より定年が延長となり、校長職については特別な場合を除き役職が今年度末で定年となる。その後、継続する場合には主幹教諭又は教諭として来年度から継続を行うものである。また、3 転任・</p>

会議事件名	て ん 末	
日程第4 議案第43号 羽生市立学校職員服 務規程の一部を改正 する規程	教育長	転補についても、(9)から(12)までが今年度から新たに追加された内容である。(9)、(10)については再編成を踏まえた注意事項、(11)、(12)については教職員の心身や家庭状況等を配慮して人事異動を行うものである。
	教育長	協議事項1について、質問・意見を求めた。 特になし
	教育長	協議事項1については、よろしいか。 異議なしの声あり
	教育長	協議事項1は、承認された旨宣した。
	教育長	議案第43号について、学校教育課長から説明を求めた。
	学校教育課長	改正内容は、昨年度より埼玉県教育委員会において、出生サポート休暇が新設されたことに伴い、羽生市の服務規程においても、出生サポート休暇を加えるため、所要の改正を行うものである。
	教育長	議案第43号について、質問・意見を求めた。 特になし
	教育長	議案第43号については、よろしいか。 異議なしの声あり
	教育長	議案第43号は、可決された旨宣した。
	教育長	次回教育委員会の日程について、事務局より説明の旨。

